



平成29年
年頭のあいさつ

笑顔と

元気あふれる

住みよいまちに



田布施町長 長信 正治

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
私は、町長に就任して以来、「農業の再生」、「安心安全のまちづくり」、「健康づくり」、「住み良き県一のまちづくり」をテーマとしてまちづくりに取り組んでまいりましたが、町長としての三期目も折り返しとなり、身の引き締まる思いで新春を迎えました。

依然として社会経済情勢、本町の財政状況ともに厳しい中、「笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施」をキャッチフレーズに、一層の行政サービスの向上と、将来にわたる健全で安定した財政運営ができるよう、引き続き努力して参る所存です。
さて、庁舎問題では、町民の安心を守る観点から、防災拠点施設となる庁舎の耐震問題について取り組みます。

また、東日本大震災や熊本地震を

教訓に、災害に強いまちづくりに努め、消防・防災対策の充実や交通安全対策、地域防犯対策、消費者保護などについて、消防団・自主防災組織・自治会・交通安全協会・防犯パトロール隊・消費者団体などの協働により安全安心なまちづくりを更に進めていきたいと思えます。

また、後期基本計画は、人口減少問題の克服に向け、国・県と連携し、産業・地域・人材などの活力創出を目指した「まち・ひと・しごと創生」いわゆる地方創生総合戦略を包含したものとなっていますが、定住促進と子育て支援を一体化させた「おかせりなさい！親元近居応援事業」や「がんばれ！子育て世代住宅取得応援事業」、子育てカフェ、地域交流館横のふるさと詩情公園に遊具を設置したちびっこ広場を設けるなどの子育て支援事業や婚活イベントの実施にも取り組んでいます。
なお、今年四月からは、従来の乳幼児医療費助成制度の対象を小学校三年生まで拡大した「子ども医療費

助成制度」を実施する予定です。

また、高齢者見守りネットワークの充実や、高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせるよう、今後の在宅医療・介護連携の推進や認知症施策の展開に向けて取り組んでいくとともに、町民の健康づくりに努めていきます。

農林水産業の振興については、豪雨災害や近傍の大型公共事業の影響で遅れている国営ほ場整備事業の推進体制を来年度から強化し、新規地区への拡充も含め、荒廃農地解消や農地の有効利用が図られるよう進めていくとともに、農業・水産業の担い手の確保・育成にも取り組んでいきます。

最後になりましたが、本年も更なる「躍進」の年とし、住み良さが実感できる、笑顔と元気あふれる魅力ある田布施の実現を目指して全力を尽くすことをお誓いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

